

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 22 年 4 月 30 日 (2010.4.30)

【公表番号】特表 2009-532234 (P2009-532234A)
 【公表日】平成 21 年 9 月 10 日 (2009.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-036
 【出願番号】特願 2009-503450 (P2009-503450)
 【国際特許分類】

B 4 1 F 16/00 (2006.01)

B 4 1 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 F 16/00

B 4 1 F 7/02

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 3 月 8 日 (2010.3.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

共に転写フィルム (5) を形成する支持フィルムから印刷枚葉紙に画線部提供層を転写するための装置であって、

少なくとも、画線部に応じて印刷枚葉紙を接着剤でコーティングするための塗布装置 (1) と、支持フィルムから印刷枚葉紙に画線部提供層を転写するためのフィルム転写モジュール (2) とを備え、

該フィルム転写モジュール (2) は圧胴 (4) と転写胴 (3) とを含み、前記圧胴 (4) と前記転写胴 (3) とで共通の転写間隙 (6) を形成し、

さらに前記支持フィルムは前記転写胴 (3) の周囲を巡るかあるいは該転写胴 (3) に対して略接線方向に通過することが可能であり、それによって前記支持フィルムは、前記圧胴 (4) に載置されている印刷枚葉紙のコーティングされた面に貼付され、印刷枚葉紙と共に前記転写胴 (3) と前記圧胴 (4) の間の前記転写間隙 (6) を通って送られ、前記印刷枚葉紙が前記転写間隙 (6) から出てきた後で画線部提供層は、接着剤が付けられた画線部に応じた領域で印刷枚葉紙に接着し、支持フィルムから剥離される装置において、

前記転写胴 (3) の表面に好適には滑らかな表面あるいは非常に細微な構成を有する表面を持つ被覆部 (10) が施され、

前記転写胴 (3) は表面に載置されている前記被覆部 (10) と結合されて形成もしくは構成および / あるいは駆動されており、それによって前記転写胴 (3) の作用面において、塗布されるべき媒体と該媒体上に載置される前記転写フィルム (5) とを含んだ状態で前記転写胴 (3) と協働する胴の表面速度の 3 % まで上回る速度が達成されることを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記転写胴 (3) の表面に設けられた被覆部が、変更可能な外装の厚さ (25) を有し

、
前記転写胴 (3) の表面の被覆部が、可変に結合可能な下敷きと結合されたプレス張設材 (10) によって作られており、

前記プレス張設材（１０）を、前記フィルム転写モジュール（２）における前記転写胴（３）の円筒形の表面領域を全面的に被覆する面部材として、取り外し可能に該転写胴（３）に張設可能であることを特徴とする請求項１に記載の装置。

【請求項３】

前記転写胴（３）の表面の被覆部が変更された外装の厚さ（２５）を有し、前記転写胴（３）の有効な直径が、通常の外装の厚さ（２５）を備えた公称直径を０，９ｍｍまで上回ることを特徴とする請求項２に記載の装置。

【請求項４】

下敷きを含んだ前記転写胴（３）の被覆部が、低い圧縮率の滑らかなプレス張設材（１０）を備え、前記被覆部の表面が少なくとも前記転写フィルム（５）との接触領域において、支持フィルムに対する最小の付着力を有することを特徴とする請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の装置。

【請求項５】

前記被覆部に備えられる前記プレス張設材（１０）が、表面張力の低い材料を用いて作られている機能層を備え、前記材料の表面は滑らかにされており、前記プレス張設材（１０）は圧縮性のある下部構造（２３）を有していることを特徴とする請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の装置。

【請求項６】

前記フィルム転写モジュール（２）における前記転写胴（３）には、被印刷物をガイドすると共に、前記転写間隙（６）を形成するために前記転写胴（３）に隣り合って設けられている胴に対して、前記転写胴（３）の軸の間隔を無段階かつ遠隔制御可能に変更するための装置が配設されていることを特徴とする請求項１から請求項５のいずれか１項に記載の装置。

【請求項７】

前記転写胴（３）が駆動装置を備えているかあるいは駆動装置と結合され、それにより駆動装置によって該転写胴（３）の作用面の表面速度を、該転写胴（３）と協働する胴もしくは該胴にガイドされる被印刷物に当接する前記転写フィルム（５）の表面に対し相対的に変更できる、好適には増大させることができることを特徴とする請求項１から請求項６のいずれか１項に記載の装置。

【請求項８】

枚葉紙加工機もしくは前記フィルム転写モジュール（２）の駆動装置と前記転写胴（３）との駆動接続において、ギアが無段階に調節可能な変速比を備えていることを特徴とする請求項７に記載の装置。

【請求項９】

前記転写胴（３）に、駆動速度が無段階に調節可能で、前記フィルム転写モジュール（２）の駆動装置から機械的に独立して配置された駆動機関が配設されていることを特徴とする請求項７に記載の装置。

【請求項１０】

制御装置が設けられ、当該制御装置によって、前記転写胴（３）と協働し前記転写間隙（６）を形成する胴に対する、前記転写胴（３）の作用面の回転速度差が、機械の速度に応じて変更可能に調節できることを特徴とする請求項７から請求項９のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１１】

制御装置が設けられ、当該制御装置によって、前記転写胴（３）と協働し前記転写間隙（６）を形成する胴に対する、前記転写胴（３）の作用面の回転速度差が、前記転写フィルム（５）によって計測されたウェブ張力の値に応じて変更可能に調節できることを特徴とする請求項７から請求項９のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１２】

制御装置が設けられ、当該制御装置によって、前記転写胴（３）と協働し前記転写間隙（６）を形成する胴に対する、前記転写胴（３）の作用面の回転速度差が、該転写胴（３

）と該転写胴（３）に隣接する胴との間の、該転写胴（３）に張設された被覆部の厚さ（２５）を含めた印刷圧力調整の値に応じて変更可能に調節できることを特徴とする請求項 7 から請求項 9 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 13】

制御装置が設けられ、当該制御装置によって、前記転写胴（３）と協働し前記転写間隙（６）を形成する胴に対する、前記転写胴（３）の作用面の回転速度差が、前記フィルム転写モジュール（２）においてあるいは前記転写フィルム（５）で生じる温度変化に応じて変更可能に調節できることを特徴とする請求項 7 から請求項 9 のいずれか 1 項に記載の装置。